



トラストだより

21号

公益財団法人 奥山保全トラスト会報 VOL. 21 / 2021. 7. 27



熊本県山都町トラスト地町 広葉樹林化の経過観察をしている元人工林の斜面（撮影：藤本 剛さん）

森を守り、水を守り、命を守る。

理事長 米田 真理子

梅雨が明け、暑い夏真っ盛りの季節となりました。生命を育む水である雨をたくさん降らせる梅雨ではありますが、静岡県熱海市で大規模な土石流が起こるとい痛ましい災害がありました。被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。

これは熱海に限ったことではありません。毎年、梅雨や台風の時期になると、今度はどこの地盤が崩れるのだろうか心配せずにはいられません。放置人工林による奥山の荒廃だけでなく、尾根筋に建設される風力発電設備、大規模な地形の破壊や森林伐採である大型太陽光発電施設の建設など、「再生可能エネルギー」という聞こえのいい言葉の裏で推し進められる森林大規模伐採により、水源の森が失われていく現状を強く危惧しています。今後さらなる土砂災害が警戒され、もはや「人災」と言えます。

水源の森は、水を供給するだけでなく、災害にも強く、私たちの命を守る森です。地元の方、ボランティアの方にご協力いただいて、各トラスト地で天然林再生に向けた取り組みを続けています。すぐに結果に表れるわけではなく、地道で粘り強い取り組みですが、災害に強い天然林再生の事例を必ず作り、発信していきたいと思ひます。今後も水源の森のトラスト運動、そして天然林再生という未来を見据えると何よりも重要な課題に全力を尽くして参ります。

クレジットカードでの会費・ご寄附のお振込もできます！



ホームページから
お願いします。

<https://www.okuyama-trust.org/>ご入会-ご寄附/

※太字部分は日本語入力です。

QRコードはこちら→



熊本県
山都町トラスト地

山都町（やまとちょう）トラスト地は、2018年に取得した約31ha（約94000坪）の山林で、トラスト地のうち24haはスギの人工林を皆伐した跡地。残り7haは40～50年生のシイやカシの照葉樹林からなり、

1級河川である緑川の源流域にあたります。

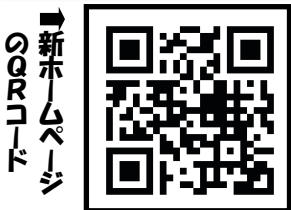
温暖湿潤な九州では植物の成長が早く、皆伐地を放置しているだけで天然林が再生します。人工林の伐採、伐採後のスギの再造林が進む九州で、奥山や水源域や林業に向かない場所は、スギを植えるのではなく、災害に強い天然林に戻していくという運動を広めたいという思いで、天然林再生の事例とすべく、地元ボランティアの方が定期的に経過観察を行い、現在も記録が続けられています。

（右の写真は表紙の写真とトラスト地取得前に撮影した同じ場所）



ホームページのリニューアルと、Facebook開設のお知らせ

↓左から パソコンで見た時のホームページ トラスト地紹介ページの例 スマートフォンで見た時のホームページ



新しいホームページは、
パソコン・スマートフォンに対応。
各トラスト地の写真も掲載！

今回のリニューアルでは、トラスト地の情報や広報資料が探しやすい構成やデザインに改善いたしました。リニューアルに伴い、URLが変更になりましたのでブラウザの「ブックマーク」「お気に入り」などに登録されている場合は、新しいURL <https://www.okuyama-trust.org/> への登録変更をお願いします。



また、公式Facebook（フェイスブック）ページを開設しました。

Facebookでは、トラスト地の近況や当財団の取り組みを、できるだけ身近に感じていただけるよう情報を発信してまいります。ページのフォローや、投稿のシェアをよろしくお願いたします。

【公式Facebook】

<https://www.facebook.com/okuyamahozentrust/>



Facebookの
QRコード↓



トラスト地管理資金等にご協力ください

・ゆうちょ銀行振替口座 00920-4-305993
（口座名）公益財団法人 奥山保全トラスト